

第 55 期全港湾労働講座を受講して

2024 年 6 月 6 日～8 日にかけて開催された第 55 期労働講座に初めて参加させていただきました。

この労働講座を受講するにあたり、現在 57 才の私が受講するには遅すぎるのではないかと？若い人に機械を与えるべきではないかという思いもありました。しかし、受講する機会を与えてくれたことは組合活動のみならず、このような経験をすることは年齢に関係なく必ずや己の糧になるだろうという思いもあり参加させていただきました。

私事ではありますが、49 才で支部の執行委員になり 2 年後の 2019 年に 51 才で支部の委員長と同時に地本副委員長を務めることになりました。翌年の 20 年にはコロナウィルスの影響であらゆる集まりが縮小またはリモートとなり人と接することが避けられました。組合活動をしていくうえで他支部や他地方の方々と接することは勉強や励みになると思われれます。その機会も少なく又年齢だけは食ってるものの組合活動に関しては若輩者ですが労働講座に参加することとなりました。

いざ初日の講座が始まりグループ討論、自己紹介に始まり講座内容の討論というところですが、組合活動の日は浅いものの年長者という巾をきかせて進行役をさせていただきました。

最初感じたのは自分よりはるかに若い方達が堂々としていることや、経験値も踏まえて自分の意見を発表している姿に流石だなと思わざるを得ませんでした。

そして、初日 2 日 3 日と過ごすうちに、もちろん夜の懇親会やその後も含めてではありますが、意気投合し時には激しく意見をぶつけ合いながら各地方 各支部で抱える問題や組合活動していくなかでの葛藤など同じ思いを抱えながら頑張っている姿は私の励みになりました。

講義内容についても、組合活動をしていくうえで知っておくべきことや、全港湾の一員になることの心構えなど、そして、労基法の講義では今後も勉強していこうと思えるほど分かりやすく教えて頂きました。どの講義の資料も執行部の育成に役立つものばかりでした。

そして、二日目に行われたレクリエーションの話をしなければなりません。

この日のレクリエーションはドッチボールでした。各班総当たりのリーグ戦で我が第 3 班は途中アクシデントもありましたが優勝決定戦まで勝ち進みました。優勝チームにはご褒美がもらえるという事だったので頑張りましたが惜しくも負けてしまいました。そして、ご褒美の優勝目録が手渡され読み上げられた時には思わず手を広げてセーフティと声を上げていました。この瞬間 第 55 期の我らが級長 古内リーダーが誕生しました。その後はリーダーになるのが必然であったかの様に遺憾なくリーダーシップを発揮されて、ここ

に 55 期は一つとなりました。ありがとうございます。

今回労働講座に参加させていただいて、普段では経験できない多くの事を学び、たくさんの仲間も出来ました。冒頭に申し上げた通り残り少ない組合活動に限らず己の糧となる経験が出来たことは間違いありません。何より古内リーダーをはじめ 55 期の一員なれたことは私の誇りとなりました、この絆を大切にしながら頑張っていきます。55 期の皆さん お世話になりました、そしてありがとうございました。また会える時を楽しみにしています。最後に、55 期労働講座を開催するにあたりお世話になった方々、そして、講義をしてくださいました講師の方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

全日本港湾労働組合 東海地方 衣浦支部
畠中 商博